

令和8年度第1回鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会

配 付 資 料

- 令和8年度 鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿・・・・・・・・ P 1
 - 鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会設置要綱・・・・・・・・ P 2
 - 【資料1】 令和7年度鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会のまとめ（抜粋）・ P 3
 - 【資料2】 鈴鹿亀山地域の高等学校の学科・コースについて・・・・・・・・ P 5
 - 【資料3】 鈴鹿亀山地域の各県立高等学校の学びについて・・・・・・・・ P 6
 - 【資料4】 鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況・・・・・・・・ P 13
 - 【資料5】 鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）への入学状況・・・・・・・・ P 15
 - 【資料6】 鈴鹿亀山地域の中学校卒業生進路先の推移・・・・・・・・ P 16
 - 【資料7】 鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）卒業生の進路状況・・・・・・・・ P 17
 - 【資料8】 稲生高等学校の自動車工業コースの改編・・・・・・・・ P 19
 - 【資料9】 令和8年度の協議について・・・・・・・・ P 21
 - 【資料10】 鈴鹿亀山地域中学校卒業生数の推移と予測・・・・・・・・ P 22
 - 【資料11】 鈴鹿亀山地域中学校卒業生数と
県立高等学校（全日制）入学定員の推移と予測・・・・・・・・ P 23
 - 【資料12】 鈴鹿亀山地域の高等学校の学科・コースについて・・・・・・・・ P 26
 - 【資料13】 鈴鹿亀山地域の県立高等学校への交通手段等・・・・・・・・ P 29
 - 【資料14】 学校施設の老朽化の状況・・・・・・・・ P 32
 - 【資料15】 令和22年度までの鈴鹿亀山地域の高等学校の総学級数・・・・・・・・ P 33
-
- 【別冊1】 令和7年度鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会のまとめ
(令和7年12月)
 - 【別冊2】 県立高等学校活性化計画（令和4年3月）
 - 【別冊3】 県立高等学校の学び並びに配置及び規模の在り方について 答申
(令和8年3月)

令和8年度 鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No	区 分	所 属 等	名 前	新・継
1	学識経験者	三重大学教育学部 教授	金 子 淳 ^{かね こ じゅん}	新
2	地域有識者	鈴鹿商工会議所 専務理事	高 橋 成 幸 ^{たかはし なりゆき}	新
3		亀山商工会議所 専務理事	川 原 林 義 弘 ^{かわらばやし よしひろ}	新
4	市町教育委員会 教育長	鈴鹿市教育委員会 教育長	廣 田 隆 延 ^{ひろた たかのぶ}	継
5		亀山市教育委員会 教育長	中 原 博 ^{なかはら ひろし}	継
6	県立高等学校長代表	県立神戸高等学校 校長	奥 出 博 之 ^{おくで ひろゆき}	新
7	小中学校長代表	鈴鹿市立神戸中学校 校長	市 川 義 浩 ^{いちかわ よしひろ}	新
8	小中学校P T A代表	鈴鹿市P T A連合会 代表	村 田 多 恵 子 ^{むらた たえこ}	継
9		亀山市P T A連合会 代表	上 村 幸 世 ^{うえむら ゆきよ}	新
10	高等学校P T A代表	高等学校P T A連合会 代表	瀬 古 真 弓 ^{せこ まゆみ}	新
11	小中学校教職員代表	鈴鹿市立庄内小学校 教諭	谷 口 哲 也 ^{たにくち てつや}	継
12	高等学校教職員代表	県立飯野高等学校 教諭	和 田 馨 ^{わだ かおる}	継

鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

（設 置）

第1条 少子化などの社会の変化が著しい中、鈴鹿亀山地域における高等学校の特色化、魅力化を図るとともに、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため、鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、協議する。

- （1）今後の鈴鹿亀山地域全体における県立高等学校の在り方に関する事
- （2）鈴鹿亀山地域の県立高等学校活性化の方策に関する事
- （3）施設・設備に関する事
- （4）その他検討を要する事

（組 織）

第3条 協議会は、学識経験者、地域有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市町教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教職員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

（調査委員会）

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

（会 議）

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

（その他）

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は令和5年12月1日から施行する。

令和 7 年度鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会のまとめ（一部抜粋）

今後の鈴鹿亀山地域における県立高等学校の学びと配置のあり方について（当協議会のまとめ）

（1）学びと配置のあり方の方針

- 当地域の子どもたちに多様で豊かな学びを提供することを第一の価値観に据えて検討する。
- 今後の学級減への対応については、15 年先までの中学校卒業生数の減少をふまえたものとする。
- 今ある学びをそのまま残すのではなく、よりよい形で充実させるという発想を大切にする。
- 校舎の新築や建替えも視野に入れ、地域の子どもたちが地域で学べる環境や、他地域から子どもが集まるような新しい学校をつくるという方向で検討する。
- 当地域には職業系専門学科が少ないことから、普通科のコースを含め、専門性の高い学びや多様な学びの選択肢の維持・充実を図る。
- 大学進学ニーズに応える高校が地域には必要であり、できるだけ規模を維持し、充実を図る。具体的には、1 学年あたり 8 学級あることが望ましく、また、地域全体の学級数が減少する中、やむを得ず学校規模を縮小する場合も、1 学年 6 学級を下回らないようにすることが望ましい。
- 部活動の活性化や学校行事の充実のためには、一定の学校規模があることが望ましく、部活動の活性化のためには、1 学年あたり 4 学級以上あることが望ましい。
- 外国につながるのある生徒や特別な支援を必要とする生徒、不登校を経験した生徒など、多様な生徒が安心して学べる教育環境を実現する。
- 多様なニーズに対応するため、全日制課程だけでなく、定時制や通信制課程のあり方も含めて検討する。
- 通学方法や通学時間など、通学に係る状況を考慮する。通学時間については概ね 90 分以内、できれば 60 分以内となることが望ましい。

（2）15 年先（令和 22 年度）の学びと配置のイメージ

- 当地域の中学校卒業生数は、令和 22 年 3 月には、令和 7 年 3 月の 2,268 人と比較して約 6 割となる 1,400 人にまで減少することが見込まれる。当地域の県立高校（全日制）の総学級数は、中学生の進路状況が現在と大きく変わらなければ、1 学年あたり 12～14 学級程度となることも想定される。
- こうした中、「学びと配置のあり方の方針」をふまえ、校舎の新築や建替えを含めて検討しつつ、一定の学校規模を保ちながら現在の 6 校を再編し、子どもたちの豊かな教育環境を実現していく必要がある。
- 亀山市内の 1 校は、当地域内の通学環境を考慮し、周辺地域のニーズに応える高校として存続させる。
- 鈴鹿市内の 5 校は、大学進学ニーズに応える観点と、他地域にはない特色のある学びや工業をはじめとする専門性の高い学びなど多様な学びの選択肢を提供する観点を重視しながら、学びと機能を再編する。
- 全日制課程だけでなく、定時制や通信制課程のあり方も含めて検討することで、多様な学びの形態の実現をめざす。

(3) 15 年先（令和 22 年度）を見据えた令和 10 年度までに想定される 3 学級減への具体的対応

- 大学進学ニーズに応えるため、多様な選択科目の開設や専門性の高い教員配置ができる高校を、地域に 1 校は配置する。
- 専門学科や専門性の高い普通科のコースなど、多様な学びの選択肢をできるだけ維持する。
- 学校行事や部活動など、子どもたちが協働的に活動できる環境を提供できるよう、可能な限り一定の学校規模を維持する。
- 工業等の学びについては、今ある学びを充実させる。
- 多様な子どもたちが一人ひとりの状況に応じて安心して学べる教育環境を、すべての学校において充実させる。
- こうした教育環境を実現するため、令和 10 年度入学者選抜（令和 9 年度実施）から石薬師高校を募集停止とし、当地域の全日制課程 6 校 28 学級を 5 校 25 学級へと再編し、各県立高校の特色化・魅力化を図る。

(4) 今後の協議について

- 令和 10 年度以降も中学校卒業者数の急速な減少が進む中、その過程における学級減への対応については、当地域の県立高校の将来像を検討しつつ、15 年先における状況を想定しながら、引き続き県立高校の活性化に向けた協議を進める必要がある。
- 特に令和 13～15 年度に大きな生徒減が見込まれる。この期間に想定される 5～7 学級程度の学級減への対応については、できるだけ早期に協議を進め、遅くともその 3 年前である令和 10 年度までに当協議会としての考え方をとりまとめる必要がある。
- これまでの協議をふまえ、以下の点に留意しながら協議を進める必要がある。
 - ・ 隣接地域の活性化協議会における検討状況について
 - ・ 大学進学ニーズや専門性の高い学びを含む多様な学びの選択肢の提供について
 - ・ 地域からのニーズが高い工業等に関する専門性の高い学びの提供方策について
 - ・ 定時制や通信制課程も含めた多様な子どもたちが学べる環境の保障について
 - ・ 老朽化にともなう校舎の新築や建替えについて

【資料 2】

鈴鹿亀山地域の高等学校等の学科・コースについて（R9年度）

1. 全日制課程

- 県立**・神戸高等学校（鈴鹿市） 普通科(200)、理数科(80)
・飯野高等学校（鈴鹿市） 応用デザイン科(80)、
英語コミュニケーション科(80)
・白子高等学校（鈴鹿市） 普通科(160)、文化教養(吹奏楽)コース(40)、
生活創造科(40)
・石薬師高等学校（鈴鹿市） 普通科(80)
・稻生高等学校（鈴鹿市） 普通科(120)、体育科(40)
・亀山高等学校（亀山市） 普通科(80)、システムメディア科(40)、
総合生活科(40)
私立・鈴鹿高等学校（鈴鹿市） 普通科(470)
（鈴鹿中等教育学校後期課程含む） 特進コース、探究コース、総合コース
中等教育学校後期課程(医進・選抜コース、特進コース)

2. 定時制課程

- 県立**・飯野高等学校（鈴鹿市） 普通科(80)

3. 通信制課程

- 私立**・徳風高等学校（亀山市） 普通科(240) ※技能連携制度あり
総合コース、ドッグケアコース、パソコンコース
日本語コース、土日コース、平日サートコース

4. 高等専門学校

- 国立**・鈴鹿工業高等専門学校（鈴鹿市） 機械工学科(40)、電気電子工学科(40)、
電子情報工学科(40)、生物応用化学科(40)、
材料工学科(40)

○ 課程

- ・全日制：通常の時間帯において授業を行う課程
- ・定時制：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程
- ・通信制：通信による教育を行う課程

○ 学科

- ・普通科：普通教育を主とする学科
※普通科、普通教育を施す学科として適当な規模及び内容があると認められる学科（学際領域に関する学科、地域社会に関する学科など）
- ・専門学科：専門教育を主とする学科
【職業系】農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、情報科、福祉科など職業教育を主とする学科
【普通科系】理数科、体育科、音楽科、美術科、外国語科、国際関係科など職業系以外の専門教育を施す学科
- ・総合学科：普通教育及び専門教育を選択履修の旨として総合的に施す学科

○ 中等教育学校

- 一つの学校として、一体的に中高一貫教育を行うもの

○ 技能連携制度

- 通信制または定時制高校に在籍する生徒が、指定された技能教育施設で教育を受けている場合、そこでの学習を在籍校における教科の一部の履修とみなす制度

○ 高等専門学校

- 実践的・創造的技術者を養成することを目的とした5年一貫教育(商船学科は5年6か月)の高等教育機関であり、理論だけではなく実験・実習を重視した専門教育が行われている

令和8年度 神戸高校（全日制）の特色

- 1 めざす学校像 ○不断の進化を続ける伝統ある進学校
 ○生徒、保護者、地域から信頼され、期待される学校

2 学校の特色（理数科2学級 + 普通科5学級）

大正9（1920）年に創立され、本年度106年目を迎えます。卒業生は4万人弱に達し、各界で活躍されています。生徒は開学当初からの校訓「質実剛健」のもと、誠実に心身ともに健やかで逞しく学業に励んでいます。

（1）「自らを知り、自分の目標に向かって挑戦し続け、社会に貢献できる生徒」の育成

自分自身を知り、自ら目標を定め、いかなる状況においても粘り強く挑戦し続ける忍耐力、社会貢献しようとする使命感、そして自ら行動を起こす行動力を備えた生徒の育成をめざします。答えのない課題に粘り強く取り組み、仲間と切磋琢磨しながら、地域に学び、社会のために行動できる力を育む教育活動を行っています。

（2）地域とともにある「神高生（かんこうせい）」

地域の方々から親しみを込めて「神高生」と呼ばれ、約70%の生徒が鈴鹿市から通学しています。祖父母から3代、兄弟姉妹も神高生という生徒も少なくない、地域に根ざし、地域に愛される学校です。

（3）高い進学率

90%近い生徒が四年制大学へ進学しています。国公立大学へは58名が合格し、私立大学へはのべ588名の合格者を出しています。（令和8年度入試）

（4）本校の特徴

◎一歩先の学びをリードする中勢地区オンリーワンの理数科

文系・理系の枠にとらわれず、「夏合宿」や「課題研究」など独自の取組を通して、理数分野への深い探究心、数理的思考力、データサイエンスに基づいた説得力のあるプレゼンテーション技術などを身に付けることをめざします。国公立大学進学をめざす特別進学クラスとして、高い志を持つ仲間と切磋琢磨しながら学んでいます。

◎「鈴鹿学」で地域に貢献する、自由な学びができる普通科

鈴鹿のまちをよりよくするために、高校生の視点で課題を見つけ、調査や議論・分析などの探究活動を行っています。自らの好奇心に従い、自由に「鈴鹿学」に励むことで総合型選抜や学校推薦型選抜等大学入試にも対応し、地域のリーダーとなる実践力を養います。また、より広い選択肢の中から自分の進路・興味関心に合う科目を選択できます。

◎希望する大学への進学を手厚くサポート

神戸高校は、全ての生徒が伸び伸びと自分の夢に向かい、果敢に挑戦し続けられるよう精一杯サポートします。生徒が学びや様々な活動を主体的に選択できるよう、放課後時間を大切に、個別面談、課外授業、進路ガイダンス、大学出前授業等を通して、頑張る生徒を支えています。

◎「文武両道」をめざし、生徒の「やりたい」思いを全力で応援

現在、運動部13、文化部14の部活動があり、のべ90%以上の生徒が部活動に加入しています。令和7年度は、放送・山岳・水泳・箏曲・吹奏楽・陸上競技・演劇など複数の部活動が全国・東海大会へ出場しました。そのほか、令和7年度「税に関する高校生の作文」では名古屋国税局長賞・鈴鹿税務署長賞を受賞しました。

令和8年度 飯野高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

地域から信頼され、生徒が「自分らしさ」を発揮できる学校

2 育みたい生徒像

- 自分と他者の違いを認め、自分を大切にし、他者を思いやることができる生徒
- 基礎基本の力を身につけ、信頼される社会人として地域に貢献できる生徒
- 専門的な知識、技能の習得を通じて、自由で豊かな表現力、創造力を発揮できる生徒

3 学校の特色（応用デザイン科2学級＋英語コミュニケーション科2学級）

（1）応用デザイン科

- あらゆる造形表現活動を通して、自立して活動ができ、社会に貢献できる人材を育成します。
- 専門学科ならではの施設・設備を活用して、実習の時間を多く設けています。
- 1年生、2年生の作品展をはじめ、ファッションショーや3年間の集大成である卒業制作展を開催しています。美術公募展にも積極的に出品しています。
- 多くの生徒が国公立大学をはじめとする美術・デザイン系の学校へ進学し、専門性を追求しています。
- 1年生では、デザイン・美術に関する基本的な知識と技術を習得し、造形表現活動に積極的に取り組む姿勢を身につけます。
- 2年生では、「ビジュアルデザイン」「服飾デザイン」「美術（油彩画・日本画・彫刻）」の3コース5専攻に分かれ、各専門分野の基礎的な知識と技術を習得します。
- 3年生では、各専門分野の知識と技術を深め、習得した知識と技術を主体的に卒業制作展の作品として表現・完成させます。

（2）英語コミュニケーション科

- 英語による実践的なコミュニケーション能力を養成し、国際化、情報化が加速する社会に貢献できる人材を育成します。
- ディベートやスピーキング、ライティング指導をはじめ、英語4技能5領域を伸ばすための充実した英語学習環境を整えています。
- スピーチコンテストやエッセイコンテストにおいて優秀な成績を収める他、3年生では集大成として「英語表現演習発表会」を開催します。
- 日本を含め、18か国につながりのある生徒が在籍しており、多文化共生社会の実現をめざし、ともに学校生活を送るなかで、豊かな国際感覚を身につけることができます。
- サマーセミナーや大学見学、外部講師による講演・ワークショップなど、充実した英語関連行事を行っています。
- 海外語学研修や海外の学校との交流など、豊富な国際交流の機会を設けています。
- 日本語の支援が必要な生徒には、取り出し授業や外国人生徒支援専門員による授業サポートおよび通訳補助などの支援を行っています。

令和8年度 飯野高校（定時制）の特色

1 めざす学校像

地域から信頼され、生徒が「自分らしさ」を発揮できる学校

2 育みたい生徒像

- 自分と他者の違いを認め、自分を大切にし、他者を思いやることができる生徒
- 基礎基本の力を身につけ、信頼される社会人として地域に貢献できる生徒
- あいさつをはじめ、他者と適切なコミュニケーションがとれる生徒

3 学校の特色（普通科2学級）

（1）教育目標

充実した多文化共生教育やキャリア教育を通して、多様なニーズを有する生徒たちが自信と誇りをもって社会で生きる力を養成し、生徒たちが将来、社会の構成員として生活し、これからの新しい社会を創造していく力を育みます。

（2）多文化共生教育を推進する特色ある教育

- 「職業基礎」や「職業一般」をとおして「働く」ことについて学びます。
- 外国人生徒の理解度に合わせて、「入門日本語」および「実用日本語」を開設し、きめ細やかな日本語指導を行います。
- 「国際理解」や「スペイン語」「ポルトガル語」についても学ぶことができます。

（3）働く人などの「学びなおし」を応援する学習時間帯

自分のライフスタイルに合わせて学習できるよう、2つの学習時間帯から選択することで、自らのペースで基礎からじっくりと学ぶことができます。

I 部・・・15:50～19:25 II 部・・・17:35～21:10

（4）柔軟な教育システムと多様な学習形態

- 興味・関心・進路に応じた科目を選択し、自分で時間割を作成することができます。
- 他部の授業を学習するなど、さまざまな学び方により3年間で卒業することもできます。
- 二学期制で、学期ごとに単位を認定することから、9月末に卒業することもできます。

（5）充実した進路体制と学校行事

<進路体制>

就職コーディネーターと連携した進路相談・就労支援を積極的に行うとともに、職業別体験実習ガイダンスを開催します。また、進学希望者には個別指導を中心に学力の向上を図る取組を進めます。

<学校行事>

体育祭、文化祭、定時制・通信制生徒生活体験発表会・文化作品展、定時制・通信制スポーツ大会、修学旅行・遠足、新年生徒交流会などの学校行事も充実しており、年次を超えた交流をとおして、楽しい学校生活を送ることができます。

令和8年度 白子高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 地域から愛され応援される、誇りを持った生徒を育てる学校
- 学力向上と進路実現を図り、自立した生徒を育てる学校
- 互いの人権を尊重し、心豊かな生徒を育てる学校

2 育みたい生徒像

- 共に支え合いながら、地域社会のために貢献できる生徒
- 自分で考え、行動し、主体的に生きることができる生徒
- お互いを認め合い、豊かな人間関係を築くことができる生徒

3 学校の特色

（普通科4学級 + 普通科文化教養(吹奏楽)コース1学級 + 生活創造科1学級）

（1）学科の特徴

<普通科>

進学にも就職にも幅広く対応します。補習・課外授業をはじめ、丁寧な指導・支援により確かな学力をつけ、進路希望を実現します。2年生から「進学」、「教養」の2コースに分かれ学習し、3年生では、さらに普通科ならではの多様な履修科目を、探究的に学びます。

進路は、就職、専門学校進学、大学(文系・理系)、短大進学、看護医療系進学と多様な生徒の希望に対応します。地元の企業や大学等に就職・進学する生徒も多く、地域を支える人材を育成します。

<普通科文化教養(吹奏楽)コース>

県内唯一のコースとして、音楽の専門的な技術(器楽)を習得できる授業と教諭・講師陣(プロのマンツーマンレッスン)が充実しています。3年間を通して音楽の基礎、基本を学べます。合奏だけでなく独奏でも数多くのコンテストに入賞するなど成果をあげています。進路は、普通科の1つコースとして音楽系以外にも多様な希望に対応します。

<生活創造科>

家庭に関する知識や技術・マナーを学習し、心豊かなライフスタイルを創造する力を身につけます。2年生からは「食彩」、「服飾」の2コースに分かれて学習し、専門性を追求し実践力を高めます。また、県内外の専門学校の先生や地域のプロフェッショナルを招いての特別講義も多く行っています。実力をつけ、各種コンテストにも挑戦します。

（2）地域連携の取組

- 全学科共通「総合的な探究の時間」において、1年生では地元企業等と連携したプロジェクト型学習、2年生では鈴鹿市をフィールドとした課題解決型学習を実施するなど、地域と協働した学びに積極的に取り組みます。
- 文化教養(吹奏楽)コースでは、地域交流・地域での演奏に数多く取り組み、幼児から高齢者まで多くの地元の方との盛んに交流を行っています。
- 生活創造科では、自分たちで考案・調理した弁当を地域の高齢者に届ける活動や、地域の子ども食堂に参加することなどを通じて、実践力を養い、社会問題の解決に貢献しています。また地元企業と連携した商品開発も行っています。

（3）部活動

運動系10部、文化系12部が活動中です。卓球部男子は今年県総体を7連覇し、16回目の全国高校総体に出場しました。卓球部女子は県総体31連覇、40回目の全国高校総体への出場を決め特別表彰を受ける予定です。また剣道部も毎年東海大会に参加しています。吹奏楽部は、毎年吹奏楽コンクール東海大会に出場し、過去には全国大会に6回出場しています。また近年2年連続でマーチングコンテスト全国大会に出場しています。

令和8年度 稲生高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 学校・家庭・地域の連携のもと「社会に役立つ人材の育成」に取り組む学校
～知・徳・体の調和がとれた教育実践をとおして～

2 学校の特色（普通科3学級＋体育科1学級）

◎普通科

2年生からは、生徒の興味・関心に合わせて学習できるよう、6つのコースから選択して学びます。

○「アドバンスコース（5教科の多様な学び）」

- ・国語、社会（地理歴史・公民）、数学、理科、英語の5教科の授業を通して、幅広い教養を身につけます。

○「食物調理コース（家庭科の授業）」

- ・食文化や食品、調理についての専門的な知識を学ぶとともに、調理実習や実験等をとおして、計画的に考え自ら行動する力を身につけます。また、食物調理技術検定の取得をめざし、食物に関する知識や技術を深めます。

○「情報コース（情報科の授業）」

- ・コンピュータの知識、技術、情報モラルを学び、正しく情報を活用できる力とともに、コンピュータに関する検定取得をめざし、実社会で生きる力を身につけていきます。

○「自動車工業コース（工業科の授業）」

- ・エンジン分解・組立実習や自動車の原理・機構、基本的な金属加工実習や計測・工具の扱い方等を学びます。学校近隣の企業での実習や職業訓練センターでの学習を通して、最先端のものづくりについて学び、職業人としての意識を高めます。

○「ビジネスコース（商業科の授業）」

- ・技能やマナー、簿記会計、情報処理等の学習をとおしてビジネスシーンにおいて必要とされる様々な力を養い、実践的な対応力を身につけます。

○「介護福祉コース（福祉科の授業）」

- ・2年間で「介護職員初任者研修課程」に取り組み、介護用ベッドや車いすなどを使った校内実習や、学校近隣の福祉施設での実習を行います。様々な人々との交流を通して、福祉についての専門的な知識や技術を身につけます。

◎体育科

全天候型400mトラックや専用グラウンドを備えており、アスリートの競技力向上を目指した幅広い学びと目標達成の支援が可能です。さらに、スポーツを通じてコミュニケーション能力を育成し、地域の小中学生への出前授業や鈴鹿医療科学大学との連携授業を通じて、実践的な学びや知識・技術を習得する機会を提供しています。これらの取組を通じて、社会で活躍する人材の育成をめざしています。

（主な行事）キャンプ実習、スノーボード実習、水泳実習など。

稲生高校は、基礎・基本の学習を重視し、ICT機器の活用や生徒が主体的に活動する場面を創造するなど、生徒にとってわかりやすい授業を展開しています。多くの生徒が「勉強が苦手だったけど、わかるようになって楽しい」と感じ、学びに対する意識が向上しています。

稲生高校での学びを活かし、鈴鹿市や亀山市、津市のものづくり企業を中心とした地域の産業界へ就職し、活躍している卒業生が多くいます。また、大学や短期大学、専門学校等に進学し、学びを深めている卒業生もいます。生徒一人ひとりが一生懸命取り組める環境があり、希望する進路を実現できる学校です。

令和8年度 石薬師高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 自ら努力して学び、自分の進路を自分で切り拓く生徒を育てる学校
- 地域から信頼され、強い責任感を持ち、将来の社会に貢献する生徒を育てる学校
- 笑顔にあふれ、人を思いやる豊かな人間性を持つ生徒を育てる学校

2 育みたい生徒像

- 基礎基本の学力を身につけ、主体的に学習に取り組み、生涯にわたり学ぶ力を持った生徒
- キャリア教育を通して自己の進路について考え、社会の一員として貢献できる力を持った生徒
- 豊かな人間性を身につけ、積極的にいじめ防止に向けて行動できる力を持った生徒

3 学校の特色（普通科2学級）

（1）学校概要

- 鈴鹿市の高台に位置し、晴れた日には東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈を望む風光明媚な環境にあります。
- 自主、創造、敬愛の精神を大切にし、就職をめざす生徒、進学をめざす生徒に対してきめ細かくサポートしています。
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、就職実現コーディネーター、スクールサポートスタッフなどの専門性の高いスタッフが定期的に来校し、多面的な支援体制を構築しています。
- 杉の子特別支援学校石薬師分校と校舎を共用していることもあり、合同避難訓練を実施したり、生徒会を中心に生徒間の交流をしたりしています。

（2）学習指導

- 国語・数学・英語では習熟度別授業や TT、少人数授業を行っており、高校入学までの学習内容の確認を含め、基礎・基本を大切に「わかる授業」を展開しています。
- 1年生は全員共通の科目を学び、2年生からは2つの類型に分かれて学びます。

【スタンダード類型】

就職など社会で活躍するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけ、仕事や実生活に役立つ情報・商業・家庭等の知識や技術を学びます。将来、地域の即戦力として活躍することをめざします。

【アカデミック類型】

4年制大学や短期大学・専門学校等に進学するために必要な学習を行いながら、これからの社会に参画するための思考力や行動力を高めます。進学を中心に幅広い進路に対応します。

（3）進路指導

- 本校独自の「サクラサク・プラン」により、入学時から系統的なキャリア教育を実践し、就職実現コーディネーター及び商工会議所やハローワーク等の関係機関と連携を図りながら、きめ細やかな進路指導を行っています。
- 個別面談を定期的実施し、3年間を通して自分の進路の実現に向けてじっくりと考え、社会に貢献する力を高めていけるよう取り組んでいます。
- 事業所・上級学校見学会（1年生）、インターンシップ（2年生）、地元企業による説明会や面接指導（3年生）など、体験的な進路指導に力を入れています。

令和8年度 亀山高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

○校訓「自主自律」の精神のもと、自ら努力して学び、自分の進路を自分で切り拓く生徒を育て、明日の地域社会を担う人材を育む亀高

2 育みたい生徒像

- 自他を尊重するとともに、豊かな人間性を身につけ、社会の一員として責任感を持って貢献することができる亀高生
- 時と場に応じた挨拶・服装・対話等が、自主的にできる亀高生
- 自分の進路についてしっかりと考え、その実現に向けて主体的に学習に取り組むことができる亀高生

3 学校の特色（普通科2学級＋システムメディア科2学級＋総合生活科1学級）

亀山高校は創立106年目を迎えた伝統校で、亀山市唯一の県立高校です。そのため地元からの期待も大きく、地域連携による教育活動を多岐に展開しています。

中長期的目標に「①地元を支え、地元で活躍できる生徒を育成するため、これまでの伝統や学科の枠にとらわれない新しい亀山高校を創出する、②地域や大学と連携した探究活動を軸とする継続的・計画的な学習ができるカリキュラムを開発する、③生徒の学習意欲と学力向上を図るとともに、多様化する生徒の進路希望を実現する」を掲げ、生徒や地域からの要望に応えられるよう教育活動に取り組んでいます。

（1）特色ある3つの学科

- 普通科：生徒のニーズにあわせて、2年次からは「アドバンス(特別進学)」「セレクション(就職・進学)」の2系列を3学級の少人数で展開し、さらに選択科目による少人数講座でよりきめ細かな学習指導を行い、進路実現をサポートしています。
- システムメディア科：三重県で唯一の情報に関する専門学科で、2年生から「ITシステム」「メディアデザイン」「情報ビジネス」の3系列に分かれ、各系列の専門科目を学習してスペシャリストを育成しています。
- 総合生活科：家庭に関する専門学科で、2年生からは「幼児教育」「食物文化」「人間福祉」の3系列に分かれ、外部講師による授業や校内外における実習など、体験的な学習を通して、それぞれの系列において専門性の高い学習を展開しています。

（2）地域連携による教育活動

- 普通科では、地元企業等の協力を得て、2年生が5日間のインターンシップに組み込み、職業観や勤労観を深め、進路実現に繋がっています。
- システムメディア科の「課題研究」では、近隣の幼稚園と小学校で、デジタル知育ゲームやプログラミングをとおした児童生徒との交流学習や地域に向けた亀山市民パソコン講座の開催などの取組があります。また広報制作講座では、地域団体からポスター制作の依頼を受けて納品しています。
- 総合生活科では、保育園・幼稚園、飲食店、高齢者・障害者施設等で実習を行ったり、和菓子店、社会福祉協議会等の方から講習を受けたりして専門性を高めています。また、「課題研究」では、グループのテーマ・課題を解決するために、亀山市等の関係者の協力を得て調査研究を進めています。他にも小学校出前授業、図書館での絵本読み聞かせ、老人ホーム訪問など、充実した教育活動を行っています。
- インターアクト部では亀山市主催の小学生サマーキャンプにリーダーとして参加したり、地域の方々の協力を得て「関宿スイーツマップ」を作成したりして社会貢献しています。フレンドリークラブでは、亀山市立の3中学校の生徒との人権研究発表会を開催し、情報交流を図っています。

【資料 4－①】

鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況【令和8年度：現高1】

学校名	学科・コース	R8 入学 定員	R7.12 進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者 数	欠員
				定員との 差	募集人数	志願者数	合格内定者数	募集人数	志願者数	合格者数	募集人数	志願者数	合格者数		
神戸	普通	200	146	▲ 54				200	128	200				200	0
	理数	80	138	58	40	119	40	40	114	40				80	0
	計	280	284	4	40	119	40	240	242	240				280	0
飯野	応用 デザイン	80	84	4	80	84	80							80	0
	英語 コミュニケーション	80	91	11	40	100	44	36	49	36				78	▲ 2
	計	160	175	15	120	184	124	36	49	36				158	▲ 2
白子	普通	160	134	▲ 26	48	125	53	107	92	90	17	5	5	149	▲ 11
	文化教養 (吹奏楽)コース	40	24	▲ 16	40	25	25							25	▲ 15
	生活創造	40	32	▲ 8	20	36	22	18	16	16				38	▲ 2
	計	240	190	▲ 50	108	186	100	125	108	106	17	5	5	212	▲ 28
石薬師	普通	80	62	▲ 18	40	56	44	36	32	31	5	0	0	75	▲ 5
	計	80	62	▲ 18	40	56	44	36	32	31	5	0	0	75	▲ 5
稻生	普通	120	131	11	36	124	40	80	93	80				120	0
	体育	40	42	2	40	44	40							40	0
	計	160	173	13	76	168	80	80	93	80				160	0
亀山	普通	80	65	▲ 15	24	56	27	53	40	44	9	1	1	73	▲ 7
	システムメディア	80	65	▲ 15	40	66	44	36	40	36				80	0
	総合生活	40	36	▲ 4	20	36	22	18	19	18				40	0
	計	200	166	▲ 34	84	158	93	107	99	98	9	1	1	193	▲ 7
地域内県立高校 計		1,120	1,050	▲ 70	468	871	481	624	623	591	31	6	6	1,078	▲ 42

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※「R7.12進学希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された調査結果

鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況【令和７年度：現高２】

学校名	学科・コース	R7 入学 定員	R6. 12 進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者 数	欠員
				定員との 差	募集人数	志願者数	合格内定者数	募集人数	志願者数	合格者数	募集人数	志願者数	合格者数		
神戸	普通	200	197	▲ 3				200	177	200				200	0
	理数	80	127	47	40	100	40	40	107	40				80	0
	計	280	324	44	40	100	40	240	284	240				280	0
飯野	応用 デザイン	80	84	4	80	83	80							80	0
	英語 コミュニケーション	80	77	▲ 3	40	75	44	36	35	34	2	3	2	80	0
	計	160	161	1	120	158	124	36	35	34	2	3	2	160	0
白子	普通	160	163	3	48	154	53	107	114	107				160	0
	文化教養 (吹奏楽)コース	40	46	6	40	45	40							40	0
	生活創造	40	47	7	20	46	22	18	28	18				40	0
	計	240	256	16	108	245	115	125	142	125				240	0
石薬師	普通	80	74	▲ 6	40	76	44	36	59	36				80	0
	計	80	74	▲ 6	40	76	44	36	59	36				80	0
稻生	普通	120	118	▲ 2	36	102	40	80	94	80				119	1
	体育	40	62	22	40	70	40							40	0
	計	160	180	20	76	172	80	80	94	80				159	1
亀山	普通	80	81	1	24	71	27	53	52	53				81	0
	システムメディア	80	107	27	40	94	44	36	45	36				80	0
	総合生活	40	37	▲ 3	20	40	22	18	19	18				40	0
	計	200	225	25	84	205	93	107	116	107				201	0
地域内県立高校 計		1,120	1,220	100	468	956	496	624	730	622	2	3	2	1,120	1

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※「R6.12進学希望者数」は、県内の国公立中学校３年生を対象に実施された調査結果

【資料 5】

鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）への入学状況

【令和8年3月卒】

単位：人

			神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山
募集定員			280	160	240	80	160	200
県内	地域内	鈴鹿市	174	56	113	37	120	71
		亀山市	21	12	1	18	10	80
	地域外	四日市地域	39	41	42	18	12	2
		津地域	39	36	35	0	11	26
		その他地域	6	11	16	2	7	12
県外・その他			1	2	5	0	0	2
合格者計			280	158	212	75	160	193
入学者計			280	158	212	75	160	193
欠員			0	2	28	5	0	7
地域内入学者計			195	68	114	55	130	151
割合			69.6%	43.0%	53.8%	73.3%	81.3%	78.2%
地域外入学者計			85	90	98	20	30	42
割合			30.4%	57.0%	46.2%	26.7%	18.8%	21.8%

【令和7年3月卒】

単位：人

			神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山
募集定員			280	160	240	80	160	200
県内	地域内	鈴鹿市	180	53	141	57	115	67
		亀山市	15	11	1	15	13	93
	地域外	四日市地域	58	36	36	5	11	5
		津地域	24	41	34	3	13	28
		その他地域	2	16	24	0	7	8
県外・その他			1	3	4	0	0	0
合格者計			280	160	240	80	160	201
入学者計			280	160	240	80	159	201
欠員			0	0	0	0	1	0
地域内入学者計			195	64	142	72	128	160
割合			69.6%	40.0%	59.2%	90.0%	80.5%	79.6%
地域外入学者計			85	96	98	8	31	41
割合			30.4%	60.0%	40.8%	10.0%	19.5%	20.4%

鈴鹿亀山地域の中学校卒業生進路先の推移

鈴鹿亀山地域の状況

(単位：人)

		卒業 年度	卒業 者数	鈴鹿亀山地域（全日制）									地域外（全日制）					定時制・通信制				その他	
				県立							私立・高専		合計	県立			県内 私立・ 高専	県外	県内		県外		
				神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	計	鈴鹿	鈴鹿 高専		四日市 地域	津 地域	その他 地域			定時制	通信制	定時制		通信制
2市 の 合 計	R8.3 卒	2,267	195	68	114	55	130	151	713	278	52	1,043	362	334	44	147	43	59	98	1	71	65	
		100%	8.6%	3.0%	5.0%	2.4%	5.7%	6.7%	31.5%	12.3%	2.3%	46.0%	16.0%	14.7%	1.9%	6.5%	1.9%	2.6%	4.3%	0.0%	3.1%	2.9%	
	R7.3 卒	2,268	195	64	142	72	128	160	761	277	60	1,098	375	299	54	119	40	69	78	0	70	66	
		100%	8.6%	2.8%	6.3%	3.2%	5.6%	7.1%	33.6%	12.2%	2.6%	48.4%	16.5%	13.2%	2.4%	5.2%	1.8%	3.0%	3.4%	0.0%	3.1%	2.9%	
	R6.3 卒	2,413	235	66	160	100	130	153	844	339	49	1,232	325	338	46	147	36	64	95	0	68	62	
		100%	9.7%	2.7%	6.6%	4.1%	5.4%	6.3%	35.0%	14.0%	2.0%	51.1%	13.5%	14.0%	1.9%	6.1%	1.5%	2.7%	3.9%	0.0%	2.8%	2.6%	
	R5.3 卒	2,221	202	72	128	83	129	166	780	290	49	1,119	323	315	40	152	29	47	80	0	56	60	
		100%	9.1%	3.2%	5.8%	3.7%	5.8%	7.5%	35.1%	13.1%	2.2%	50.4%	14.5%	14.2%	1.8%	6.8%	1.3%	2.1%	3.6%	0.0%	2.5%	2.7%	

市別の状況

(単位：人)

	卒業 年度	卒業 者数	鈴鹿亀山地域（全日制）										地域外（全日制）					定時制・通信制				その他
			県立							私立・高専		合計	県立			県内 私立・ 高専	県外	県内		県外		
			神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	計	鈴鹿	鈴鹿 高専		四日市 地域	津 地域	その他 地域			定時制	通信制	定時制	通信制	
鈴鹿市	R8.3卒	1,782	174	56	113	37	120	71	571	252	48	871	297	245	22	101	28	48	59	1	57	53
	R7.3卒	1,808	180	53	141	57	115	67	613	245	54	912	314	209	26	91	29	59	60	0	54	54
	R6.3卒	1,973	217	58	160	80	122	69	706	304	41	1,051	265	255	30	115	29	50	73	0	56	49
	R5.3卒	1,798	180	62	126	66	113	81	628	259	43	930	271	237	26	121	24	37	64	0	45	43
亀山市	R8.3卒	485	21	12	1	18	10	80	142	26	4	172	65	89	22	46	15	11	39	0	14	12
	R7.3卒	460	15	11	1	15	13	93	148	32	6	186	61	90	28	28	11	10	18	0	16	12
	R6.3卒	440	18	8	0	20	8	84	138	35	8	181	60	83	16	32	7	14	22	0	12	13
	R5.3卒	423	22	10	2	17	16	85	152	31	6	189	52	78	14	31	5	10	16	0	11	17

【 R 8. 3 中学校卒業生（現高 1）の鈴鹿亀山地域全日制高校以外への進路先】

＊鈴鹿亀山地域外（全日制） 合計930人

- ・ 四日市地域県立 四日市工(89)、四日市南(86)、四日市農(64)、四日市市商(43)、四日市(41)、四日市中央工(13)、四日市西(9)、四日市四郷(7)、菰野(5)、川越(4)、朝明(1)、
- ・ 津地域県立 津工(92)、津西(76)、津(51)、津南(69)、津東(39)、久居農林(3)、久居(2)、白山(2)
- ・ その他地域県立 桑名(16)、あけぼの学園(10)、伊賀白鳳(7)、相可(3)、桑名工業(2)、松阪工(1)、松阪商(1)、昂学園(1)、宇治山田商業(1)、伊勢工業(1)、水産(1)
- ・ 県内私立・高専 高田(62)、海星(43)、三重(9)、四日市メリノール学院(7)、鳥羽商船(7)、近大高専(5)、暁(5)、皇学館(4)、津田学園(2)、伊勢学園(2)、青山(1)
- ・ 県外 県外国公立全日制(12)、県外私立全日制(29)、県外高専(2)(43人)

＊定時制・通信制・その他 合計294人

- ・ 県内定時制 飯野(30)、みえ夢(14)、北星(10)、四工(5)(59人)
- ・ 県内通信制 大橋学園(37)、徳風(34)、北星(16)、四日市メリノール学院(7)、みえ大台おおぞら学園(2)、英心桔梗が丘校(2)(98人)
- ・ 県外定時制・通信制 県外定時制(1)、県外通信制(71)(72人)
- ・ その他 就職・専修学校・その他(42)、特別支援学校(23)(65人)

【資料 7】

鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）卒業生の進路状況

【令和8年3月卒】

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業者数
神戸	普通 理数	243	7	7	2	13	272
		89.3%	2.6%	2.6%	0.7%	4.8%	100.0%
飯野	応用デザイン 英語コミュニケーション	32	16	43	38	9	138
		23.2%	11.6%	31.2%	27.5%	6.5%	100.0%
白子	普通 文化教養	63	6	60	44	6	179
		35.2%	3.4%	33.5%	24.6%	3.4%	100.0%
	生活創造	5	2	13	18	1	39
		12.8%	5.1%	33.3%	46.2%	2.6%	100.0%
石薬師	普通	7	4	16	72	0	99
		7.1%	4.0%	16.2%	72.7%	0.0%	100.0%
稲生	普通 体育	31	8	29	73	4	145
		21.4%	5.5%	20.0%	50.3%	2.8%	100.0%
亀山	普通	45	7	15	8	0	75
		60.0%	9.3%	20.0%	10.7%	0.0%	100.0%
	システムメディア 総合生活	18	5	33	53	2	111
		16.2%	4.5%	29.7%	47.7%	1.8%	100.0%

普通科計 (普通科系専門学科を含む)	421	48	170	237	32	908
	46.4%	5.3%	18.7%	26.1%	3.5%	100.0%
専門学科計	23	7	46	71	3	150
	15.3%	4.7%	30.7%	47.3%	2.0%	100.0%
総合学科計	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	444	55	216	308	35	1,058
	42.0%	5.2%	20.4%	29.1%	3.3%	100.0%

【令和7年3月卒】

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業者数
神戸	普通 理数	282	7	8	1	16	314
		89.8%	2.2%	2.5%	0.3%	5.1%	100.0%
飯野	応用デザイン 英語コミュニケーション	39	5	32	43	25	144
		27.1%	3.5%	22.2%	29.9%	17.4%	100.0%
白子	普通 文化教養	58	16	49	51	3	177
		32.8%	9.0%	27.7%	28.8%	1.7%	100.0%
	生活創造	0	0	11	23	1	35
		0.0%	0.0%	31.4%	65.7%	2.9%	100.0%
石薬師	普通	7	2	14	72	2	97
		7.2%	2.1%	14.4%	74.2%	2.1%	100.0%
稲生	普通 体育	18	6	32	96	2	154
		11.7%	3.9%	20.8%	62.3%	1.3%	100.0%
亀山	普通	25	8	26	17	0	76
		32.9%	10.5%	34.2%	22.4%	0.0%	100.0%
	システムメディア 総合生活	19	13	28	49	7	116
		16.4%	11.2%	24.1%	42.2%	6.0%	100.0%

普通科計 (普通科系専門学科を含む)	429	44	161	280	48	962
	44.6%	4.6%	16.7%	29.1%	5.0%	100.0%
専門学科計	19	13	39	72	8	151
	12.6%	8.6%	25.8%	47.7%	5.3%	100.0%
総合学科計	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	448	57	200	352	56	1,113
	40.3%	5.1%	18.0%	31.6%	5.0%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業者数に対する割合を表す

※「短大」は高専を含む

※「四年制大学」は大学校を含む

※「その他」は進学待機を含む

稲生高等学校の自動車工業コースの改編

1 稲生高校の概要

- ・ 稲生高等学校は、普通科（3学級）と体育科（1学級）を併設し、2学年より、進学や学力の向上を目指す「アドバンスコース」と専門学科が学べる職業実習系の「食物調理コース（家庭科）」「情報コース（情報科）」「自動車工業コース（工業科）」「ビジネスコース（商業科）」「介護福祉コース（福祉科）」の6つのコースから選択し、専門的な学習を進めています。
- ・ 普通科でも専門分野を学ぶことができ、自分の進路に合わせた実践的な教育を行っていることもあり、卒業後は約60%の生徒が就職しています。

2 改編の趣旨

- ・ 就職する生徒の中の60%以上が製造業に従事しており、工業教育への需要が高い実態がある中、産業界のニーズとして、製造現場で単に作業をするだけでなく、課題を発見し生産性や利益率を向上させる力（品質管理・工程管理等の学び）が求められています。
- ・ そこで、現在設置されている「自動車工業コース」を令和9年度入学生より、地域の製造業のニーズにより広く対応した「工業コース」に改編し、従来の自動車整備中心の学びである「自動車分野」に加え、ものづくり全般に対応できる学びとして「ものづくり分野」のコース構成とします。
- ・ このことにより、地元企業と連携した「工業の学び」を充実させ、地域産業を支える人材を育成する教育環境を整えます。

3 改編の概要

（1）改編年度 令和9年度入学生より

（2）コース改編の要点

【現状】普通科（120名）6コース

自動車工業コース、アドバンスコース、食物調理コース、情報コース、
ビジネスコース、介護福祉コース

【改編後】普通科（120名）6コース

工業コース（自動車分野・ものづくり分野）、アドバンスコース、食物調理コース、
情報コース、ビジネスコース、介護福祉コース

○ 履修できる工業科目と単位数

【現状】

自動車工業コース
<工業科目> (単位数)
工業技術基礎 (4)
生産技術 (2)
自動車工学 (4)
自動車整備 (4)
企業実習(学) (2)



【改編後】

工業コース	
自動車分野	ものづくり分野
<工業科目>	
工業技術基礎 (4)	
生産技術 (2)	工業環境技術 (2)
自動車工学 (4)	工業管理技術 (4)
自動車整備 (4)	製図 (4)
企業実習(学) (2)	

4 「ものづくり分野」の学びの特色

○ 工業環境技術

環境技術について工業の各分野における産業と環境との関係や環境の保全技術を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにするなど、環境技術を活用して持続可能な社会を構築する力を身に付けることをめざします。

○ 工業管理技術

工業生産の管理技術について企業における経営事例を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにするなど、製造現場を管理する能力を身につけることをめざします。

○ 製図

製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにするなど、部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取ることができるようになることをめざします。

○ 企業実習 (学)

学校での学習との相乗効果を高めるため、企業現場における実際の作業など、学校だけではできない実践的・体験的な学習を行います。

令和8年度の協議について

1 これまでの協議

- 当協議会は、令和5年度に設置され、令和7年度までに合計8回開催し、鈴鹿亀山地域の高校の学びと配置のあり方についての協議を進めてきました。
- 令和6年度には、地域の中学生と保護者を対象としたアンケート調査を実施し、その結果もふまえ検討を行い、「学びと配置のあり方の方針」として整理しました。
- 令和7年度は、令和6年度までの協議をふまえ、15年先の鈴鹿亀山地域の県立高校の学びと配置のあり方を見据えながら、令和10年度までに想定される当地域の県立高校の学級減への具体的な対応の方向性を「令和7年度のまとめ」としてとりまとめました。

2 令和8年度の協議の進め方

令和8年度の協議については、「令和7年度のまとめ」に示されているとおり、令和10年度以降も中学校卒業者数の急速な減少が進むことから、「1学年あたり12～14学級となることが想定される15年先（令和22年度）の学びと配置のイメージ」を念頭に、当地域の県立高校の将来像を検討しつつ、引き続き県立高校の活性化に向けた協議を進めます。

また、県立高等学校活性化計画の計画期間が令和4年度から8年度までとなっていることから、三重県教育委員会の附属機関である三重県教育改革推進会議において、次期計画の策定に向けた審議が始まっており、令和8年3月に「県立高等学校の学び並びに配置及び規模の在り方について」の答申がありました。

こうした動きも注視しながら、当地域の子どもたちにとって魅力ある高等学校の学びのあり方とそれを具現化する新築・建替えの議論を含めた配置や規模のあり方について、令和10年度を目途に当協議会において考え方をとりまとめることとします。

3 今後の協議会開催スケジュール（2回開催）

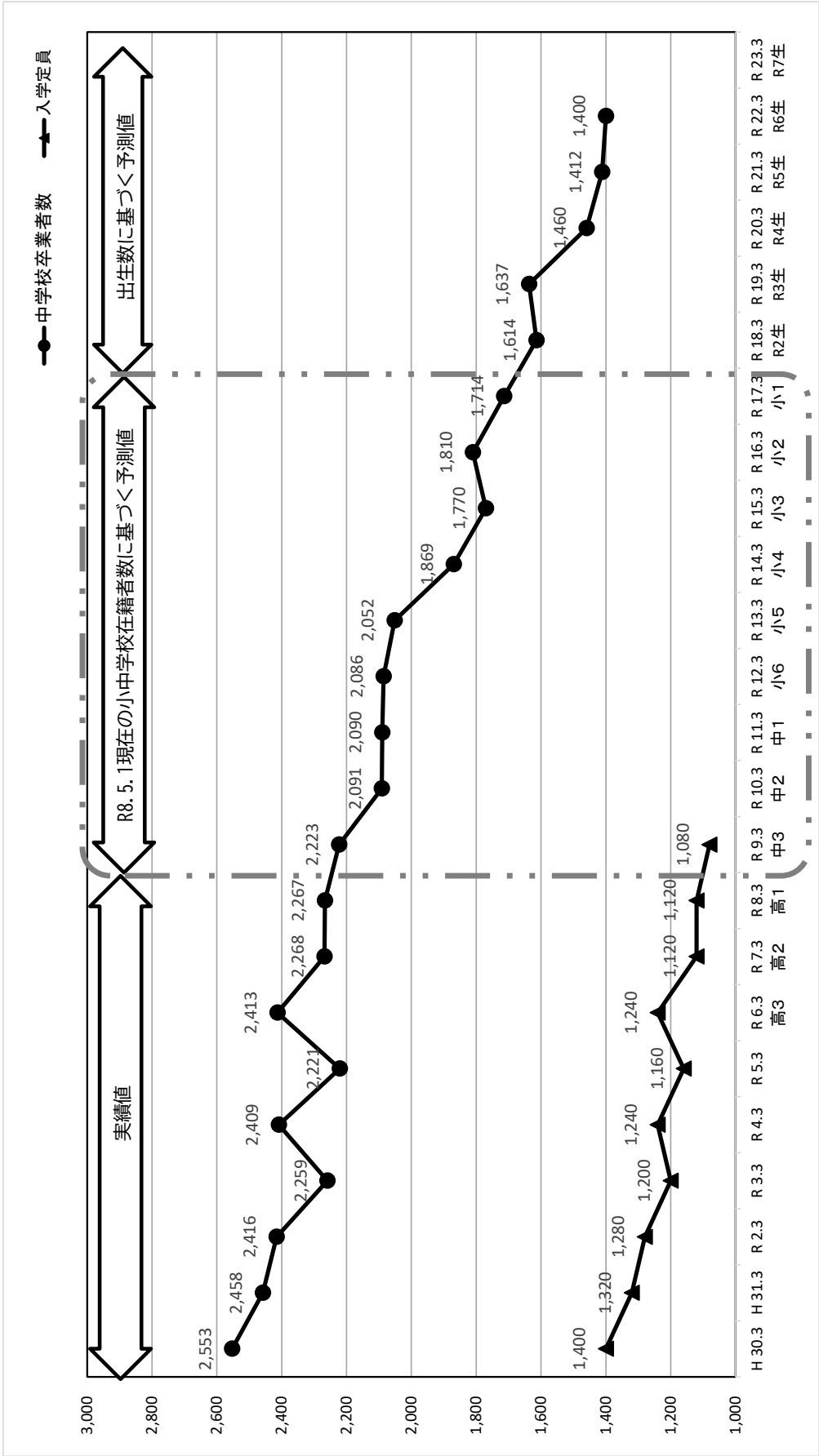
- 第1回協議会（令和8年9月1日）
 - ・ 鈴鹿亀山地域の高等学校を取り巻く状況について
 - ・ 今後の鈴鹿亀山地域における県立高校の学びと配置のあり方について①
- 第2回協議会（令和8年11～12月頃）
 - ・ 今後の鈴鹿亀山地域における県立高校の学びと配置のあり方について②

鈴鹿亀山地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）

令和8年5月1日 教育政策課調べ

		R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 卒業	R 8.3 卒業	R 9.3 現中3	R 10.3 現中2	R 11.3 現中1	R 12.3 現小6	R 13.3 現小5	R 14.3 現小4	R 15.3 現小3	R 16.3 現小2	R 17.3 現小1
		卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比	卒業者数 前年度対比 R8.3対比
鈴鹿市	卒業生数	1,798	1,973	1,808	1,782	1,785	1,642	1,664	1,634	1,618	1,466	1,391	1,399	1,365
	前年度対比		175	-165	-26	3	-143	22	-30	-16	-152	-75	8	-34
	R8.3対比					3	-140	-118	-148	-164	-316	-391	-383	-417
亀山市	卒業生数	423	440	460	485	438	449	426	452	434	403	379	411	349
	前年度対比		17	20	25	-47	11	-23	26	-18	-31	-24	32	-62
	R8.3対比					-47	-36	-59	-33	-51	-82	-106	-74	-136
小計	卒業生数	2,221	2,413	2,268	2,267	2,223	2,091	2,090	2,086	2,052	1,869	1,770	1,810	1,714
	前年度対比		192	-145	-1	-44	-132	-1	-4	-34	-183	-99	40	-96
	R8.3対比					-44	-176	-177	-181	-215	-398	-497	-457	-553
四日市地域 (四日市市・三重郡)	卒業生数	3,437	3,422	3,438	3,444	3,347	3,315	3,239	3,064	3,190	3,079	2,904	2,790	2,883
	前年度対比		-15	16	6	-97	-32	-76	-175	126	-111	-175	-114	93
	R8.3対比					-97	-129	-205	-380	-254	-365	-540	-654	-561
津地域 (津市)	卒業生数	2,655	2,636	2,527	2,537	2,454	2,453	2,372	2,296	2,273	2,215	2,180	2,029	1,931
	前年度対比		-19	-109	10	-83	-1	-81	-76	-23	-58	-35	-151	-98
	R8.3対比					-83	-84	-165	-241	-264	-322	-357	-508	-606
県内合計	卒業生数	16,055	15,891	15,718	15,511	15,303	14,834	14,377	14,011	14,032	13,398	12,753	12,420	11,764
	前年度対比		-164	-173	-207	-208	-469	-457	-366	21	-634	-645	-333	-656
	R8.3対比					-208	-677	-1,134	-1,500	-1,479	-2,113	-2,758	-3,091	-3,747

鈴鹿亀山地域中学校卒業者と県立高等学校（全日制）入学定員の推移と予測

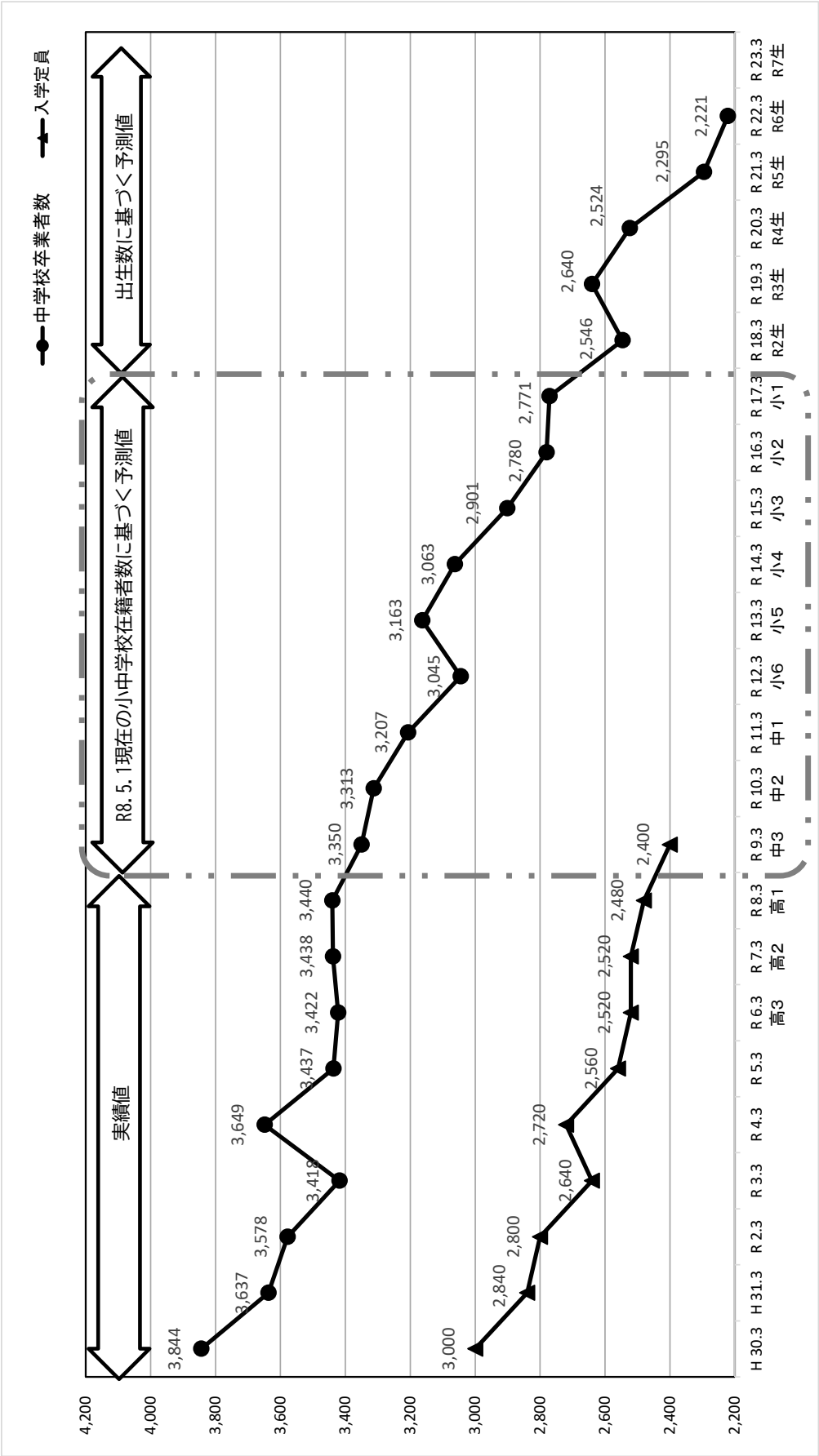


【鈴鹿亀山地域の出生数】

	R2年度生	R3年度生	R4年度生	R5年度生	R6年度生	R7年度生
	5～6歳	4～5歳	3～4歳	2～3歳	1～2歳	0～1歳
鈴鹿市	1,376	1,400	1,306	1,211	1,199	-
亀山市	359	360	269	307	306	-
合計	1,735	1,760	1,575	1,518	1,505	-

※出生数に基づく予測値(R2～R6年度生まれ)は、昨年度時点のデータに基づいて作成しています。

【参考】四日市地域中学校卒業者と県立高等学校（全日制）入学定員の推移と予測

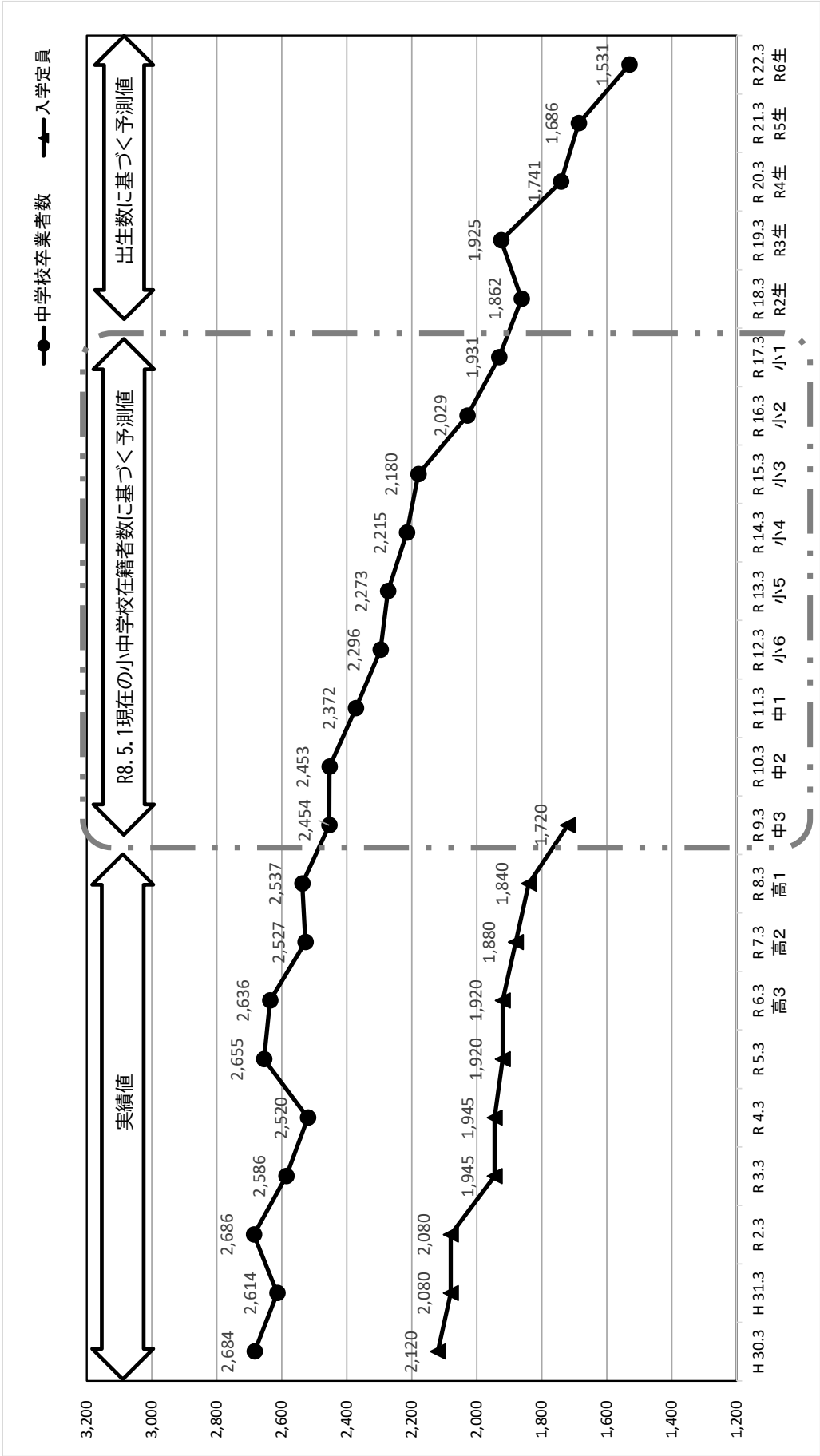


※出生数に基づく予測値(R2～R6年度生まれ)は、昨年度時点のデータに基づいて作成しています。

【四日市地域の出生数】

	R2年度生 5～6歳	R3年度生 4～5歳	R4年度生 3～4歳	R5年度生 2～3歳	R6年度生 1～2歳	R7年度生 0～1歳
四日市市	2,134	2,266	2,159	1,968	1,909	-
三重郡	552	520	504	454	435	-
合計	2,686	2,786	2,663	2,422	2,344	-

【参考】 津地域中学校卒業者と県立高等学校（全日制）入学定員の推移と予測



【津地域の出生数】

	R2年度生 5～6歳	R3年度生 4～5歳	R4年度生 3～4歳	R5年度生 2～3歳	R6年度生 1～2歳	R7年度生 0～1歳
津海市	1,770	1,830	1,655	1,603	1,465	-

※出生数に基づく予測値(R2～R6年度生まれ)は、昨年度時点のデータに基づいて作

鈴鹿亀山地域の高等学校等の学科・コースについて（令和9年度）

	学校名	大学科※	入学定員	1	2	3	4	5	6	7	8	
全 日 制 課 程	県 立	神戸	普通科	280	【普通科】 ※2年生から文系・理系の類型に分かれる							【理数科】
		飯野	普通科	160	【応用デザイン科】 ビジュアルデザインコース 服飾デザインコース 美術コース	【英語コミュニケーション科】 A（英語基礎力強化） B（ハイレベルな英語活動）						
		白子	普通科 専門学科	240	【普通科】 進学コース 教養コース	【文化教養 （吹奏楽） コース】	【生活創造科】 食彩コース 服飾コース					
		石薬師	普通科	80	【普通科】 スタンダード類型 アカデミック類型							
		稲生	普通科	160	【普通科】 アドバンスコース・食物調理コース 情報コース・工業コース（自動車・ものづくり） ビジネスコース・介護福祉コース	【体育科】						
		亀山	普通科 専門学科	160	【普通科】 アドバンス系列 テクノロジー系列	【システムメディア科】 IT・デザイン系列 デザイン系列	【総合生活科】 食物文化系列 ヒューマン系列 幼児教育系列					
	私立	鈴鹿	普通科	470	普通科（特進コース・探究コース・総合コース）※募集定員には中等教育学校後期課程（医進・選抜コース/特進コース）も含む							

全27学級
普通科※ 24
専門学科 3
（家庭2）
（情報1）
総合学科 0

※大学科の「普通科」には、普通科系専門学科を含む

○定時制課程 県立 飯野 80 普通科
○通信制課程 私立 徳風 240 普通科（総合コース、ドッグケアコース、パソコンコース、日本語コース、土日コース、平日サポートコース） ※技能連携あり
○高等専門学校 国立 鈴鹿工業高専 200 機械工学科（40）、電気電子工学科（40）、電子情報工学科（40）、生物応用化学科（40）、材料工学科（40）

【参考】四日市地域の高等学校の学科・コースについて（令和9年度）

	学校名	大学科※	入学定員	1	2	3	4	5	6	7	8
全日制課程	県立	四日市	320	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	国際科学コース	国際科学コース
		四日市南	280	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	数理科学コース	数理科学コース	
		四日市西	200	普通科	普通科	普通科	比較文化・歴史コース	数理情報コース			
		朝明	120	普通科	普通科	ふくし科					
		四日市四郷	120	普通科	普通科	スポーツ科学コース					
		四日市工業	280	機械科	電子機械科	電気科	電子工学科	建築科	物質工学科	自動車科	
		四日市中央工業	200	機械科	電気科	化学工学科	都市工学科	設備システム科			
		四日市商業	240	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	情報マネジメント科		
		四日市農芸	200	農業科学科	食品科学科	環境造園科	生活文化科	生活文化科			
		菰野	160	普通科	普通科	普通科	普通科				
		川越	280	探究科	探究科	探究科	探究科	探究科	国際探究科	国際探究科	
私立	暁	普通科	430	普通科（Ⅰ類進学コース、Ⅱ類進学コース、Ⅱ類英進コース、6年制）							
	四日市リノール学院	普通科	140	普通科							
	海星	普通科	290	普通科（国際数理コース、進学特別コース、進学コース、6年制）、ダブルディプロマ科							

全60学級
普通科※ 36
専門学科 24
(工業 12)
(商業 6)
(農業 3)
(家庭 2)
(福祉 1)
総合学科 0

※大学の「普通科」には、普通科系専門学科を含む

○定時制課程	県立	四日市工業	80	機械交通工学科 (40)、住システム工学科 (40)
○通信制課程	県立	北星	130	普通科 (昼間部) (40)、情報ビジネス科 (昼間部) (40)、普通科 (夜間部) (40)、秋期入学 (3学科共通) (10)
	県立	北星	300	普通科 (240)、秋期入学 (普通科) (60)
	私立	四日市リノール学院	60	普通科
	私立	大橋学園	255	普通科 (全日コース、医療コース、土曜コース) ※技能連携あり

【参考】津地域の高等学校の学科・コースについて（令和9年度）

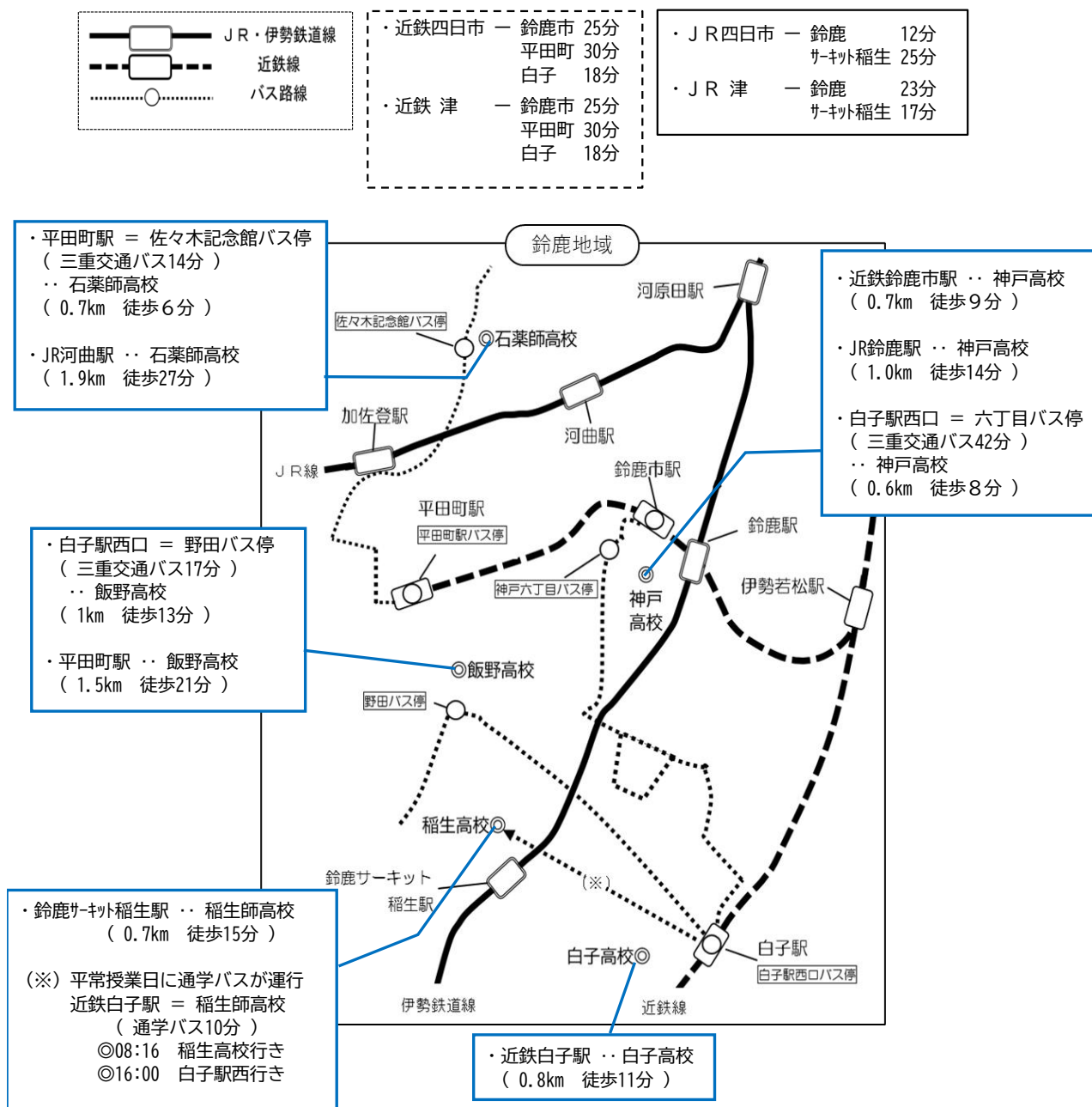
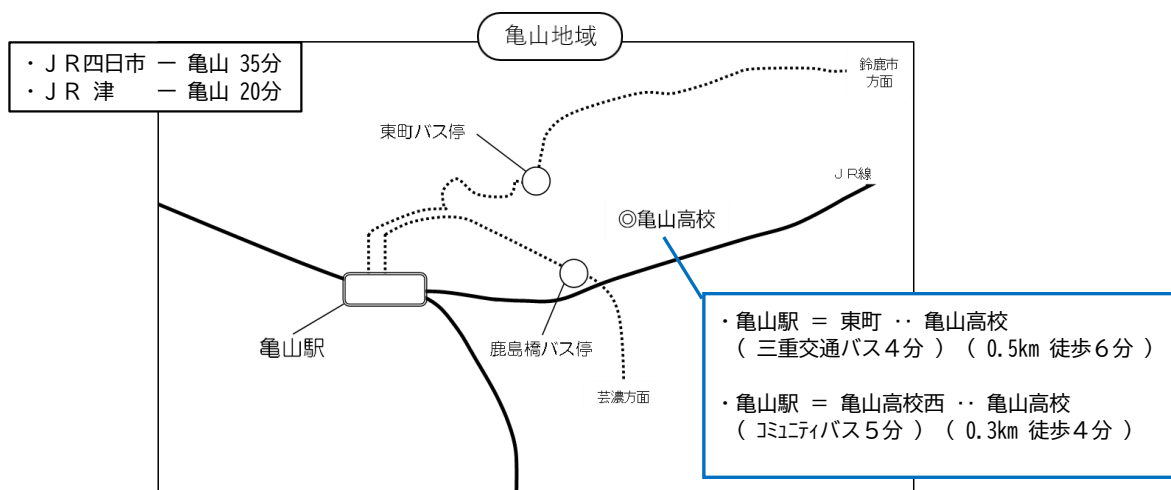
	学校名	大学科※	入学定員	1	2	3	4	5	6	7	8	
全 日 制 課 程	県 立	津	320	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	
		津西	280	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	国際科学科	国際科学科		
		津商業	200	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	情報システム科				
		津東	240	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科			
		津工業	240	機械科	機械科	機械科	電気科	電子科	建設工学科			
		久居	160	普通科	普通科	普通科	普通科					
		久居農林	200	農業科学科	園芸科学科	環境デザイン科	生活デザイン科	生活デザイン科				
		白山	80	普通科 専門学科	情報 コミュニケーション科							
		高田	560	普通科	普通科（Ⅱ類特別選抜クラス、Ⅱ類進学クラス、Ⅰ類進学クラス、6年制）							
		セントレジャー女子学園	125	普通科	普通科（スーパーアドバンスコース、アドバンスコース）							

全43学級
普通科※ 26
専門学科 17
(工業6)
(商業6)
(農業3)
(家庭2)
総合学科 0

○定時制課程 県立 みえ夢学園 120
○通信制課程 私立 一志学園 40

鈴鹿亀山地域の県立高等学校への交通手段等

(1) 通学における主な路線図



(2) 通学方法別生徒数と割合

R 8. 5. 1 学校基本調査より

通学方法		学校名	神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	合計
徒歩のみ			20	33	15	6	14	41	129
		2.3%	7.3%	2.1%	2.5%	3.1%	7.0%	3.9%	
自転車のみ			415	92	263	143	301	289	1,503
		47.6%	20.4%	37.0%	58.6%	65.7%	49.5%	45.3%	
単車のみ			6	0	0	0	0	0	6
		0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	
ＪＲのみ			14	6	0	30	37	82	169
		1.6%	1.3%	0.0%	12.3%	8.1%	14.0%	5.1%	
私鉄のみ			181	132	233	0	5	3	554
		20.8%	29.3%	32.8%	0.0%	1.1%	0.5%	16.7%	
バスのみ			17	27	9	17	1	40	111
		2.0%	6.0%	1.3%	7.0%	0.2%	6.8%	3.3%	
ＪＲと	私鉄		5	10	6	1	0	10	32
		0.6%	2.2%	0.8%	0.4%	0.0%	1.7%	1.0%	
	バス		2	13	1	2	2	5	25
		0.2%	2.9%	0.1%	0.8%	0.4%	0.9%	0.8%	
	自転車		56	12	1	30	21	89	209
		6.4%	2.7%	0.1%	12.3%	4.6%	15.2%	6.3%	
私鉄と	バス		18	29	11	4	2	0	64
		2.1%	6.4%	1.5%	1.6%	0.4%	0.0%	1.9%	
	自転車		129	68	155	3	39	8	402
		14.8%	15.1%	21.8%	1.2%	8.5%	1.4%	12.1%	
バスと	単車		0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	自転車		3	7	5	3	2	12	32
		0.3%	1.6%	0.7%	1.2%	0.4%	2.1%	1.0%	
その他 (車送迎、3つ以上の交通機関等)			5	22	12	5	34	5	83
		0.6%	4.9%	1.7%	2.0%	7.4%	0.9%	2.5%	
合計			871	451	711	244	458	584	3,319

※ (2) ~ (5) は全日制課程

(3) 通学費用別生徒数と割合

R8. 5. 1 学校実態調査より

費用 \ 学校名	神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	合計	積み上げ
不要	440	126	285	149	324	335	1,659	1,659
	50.5%	27.9%	40.1%	61.1%	70.7%	57.4%	50.0%	50.0%
3,000円以内	38	25	52	34	18	44	211	1,870
	4.4%	5.5%	7.3%	13.9%	3.9%	7.5%	6.4%	56.3%
5,000円以内	214	77	218	30	26	83	648	2,518
	24.6%	17.1%	30.7%	12.3%	5.7%	14.2%	19.5%	75.9%
7,000円以内	89	100	92	22	27	41	371	2,889
	10.2%	22.2%	12.9%	9.0%	5.9%	7.0%	11.2%	87.0%
9,000円以内	31	25	11	2	13	24	106	2,995
	3.6%	5.5%	1.5%	0.8%	2.8%	4.1%	3.2%	90.2%
11,000円以内	22	20	26	3	17	22	110	3,105
	2.5%	4.4%	3.7%	1.2%	3.7%	3.8%	3.3%	93.6%
13,000円以内	13	28	8	1	11	12	73	3,178
	1.5%	6.2%	1.1%	0.4%	2.4%	2.1%	2.2%	95.8%
15,000円以内	12	14	8	0	13	23	70	3,248
	1.4%	3.1%	1.1%	0.0%	2.8%	3.9%	2.1%	97.9%
15,001円以上	12	36	11	3	9	0	71	3,319
	1.4%	8.0%	1.5%	1.2%	2.0%	0.0%	2.1%	100.0%
合計	871	451	711	244	458	584	3,319	3,319

※通学費用は1か月あたりの費用

(4) 通学時間別生徒数と割合

R8. 5. 1 学校実態調査より

時間 \ 学校名	神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	合計	積み上げ
15分以内	142	35	148	18	102	99	544	544
	16.3%	7.8%	20.8%	7.4%	22.3%	17.0%	16.4%	16.4%
30分以内	317	85	231	86	180	186	1,085	1,629
	36.4%	18.8%	32.5%	35.2%	39.3%	31.8%	32.7%	49.1%
45分以内	181	48	139	52	88	137	645	2,274
	20.8%	10.6%	19.5%	21.3%	19.2%	23.5%	19.4%	68.5%
60分以内	166	97	128	61	55	128	635	2,909
	19.1%	21.5%	18.0%	25.0%	12.0%	21.9%	19.1%	87.6%
90分以内	62	128	55	23	24	29	321	3,230
	7.1%	28.4%	7.7%	9.4%	5.2%	5.0%	9.7%	97.3%
120分以内	3	43	9	4	8	4	71	3,301
	0.3%	9.5%	1.3%	1.6%	1.7%	0.7%	2.1%	99.5%
121分以上	0	15	1	0	1	1	18	3,319
	0.0%	3.3%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.5%	100.0%
合計	871	451	711	244	458	584	3,319	3,319

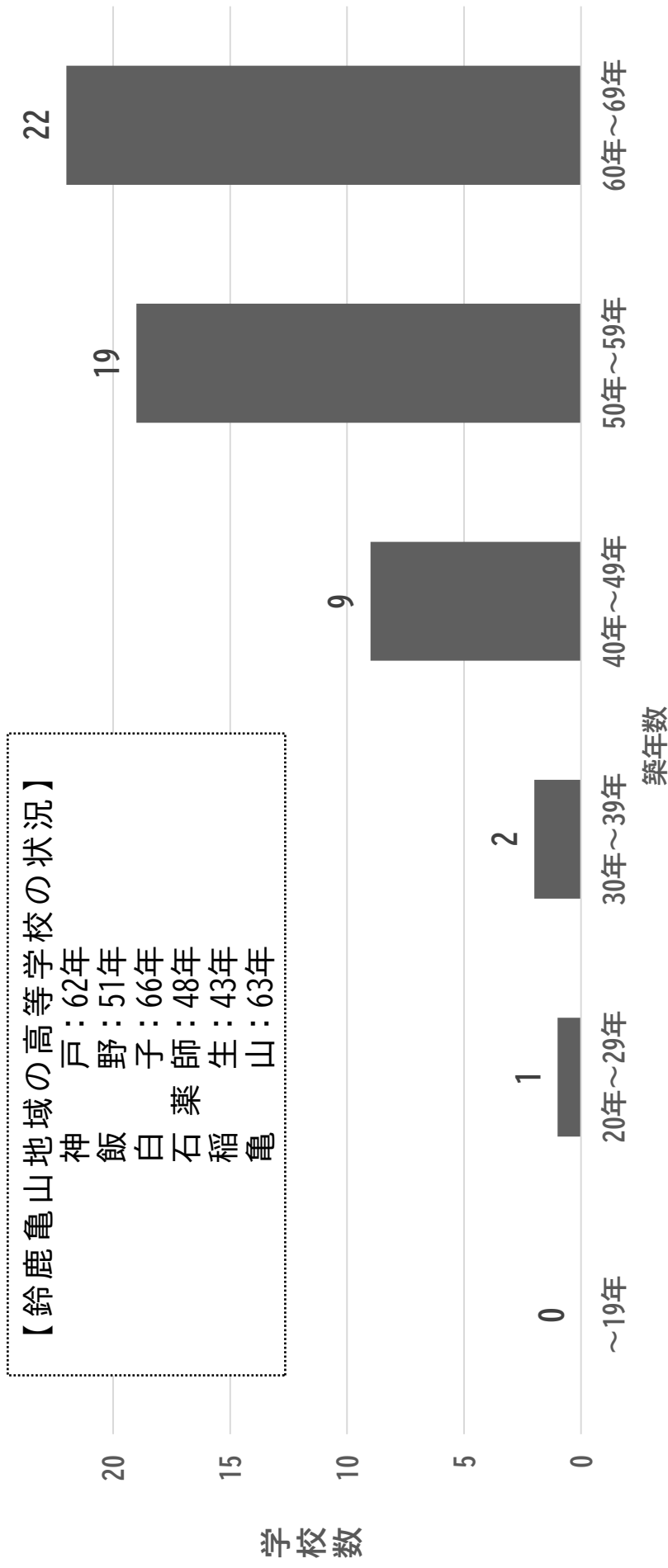
※通学時間は片道の所要時間

(5) 自宅外通学生徒数

R8. 5. 1 学校実態調査より

種別 \ 学校名	神戸	飯野	白子	石薬師	稲生	亀山	合計
下宿	0	0	9	1	0	2	12
寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	9	1	0	2	12

学校施設の老朽化の状況



【備考】

- ※1 各県立高等学校（全日制）の主たる校舎の築年数（令和8年3月31日時点）
- ※2 熊野青藍高等学校については、木本校舎と紀南校舎をそれぞれ1校として計算している。また、木本高等学校と紀南高等学校については、熊野青藍高等学校と同一の校舎であるため、学校数に含めていない。
- ※3 南伊勢高等学校南勢校舎については、令和8年3月31日をもって閉校したため、学校数に含めていない。

【資料14】

令和 22 年度までの鈴鹿亀山地域の県立高等学校（全日制）の総学級数

令和 9 年度(現中 3)

地域の中学校卒業予定者数

2,223 人

募集定員 1,080 人

令和 10 年度(現中 2)

地域の中学校卒業予定者数

2,091 人

(R9 年度比 ▲132)

令和 15 年度(現小 3)

地域の中学校卒業予定者数

1,770 人

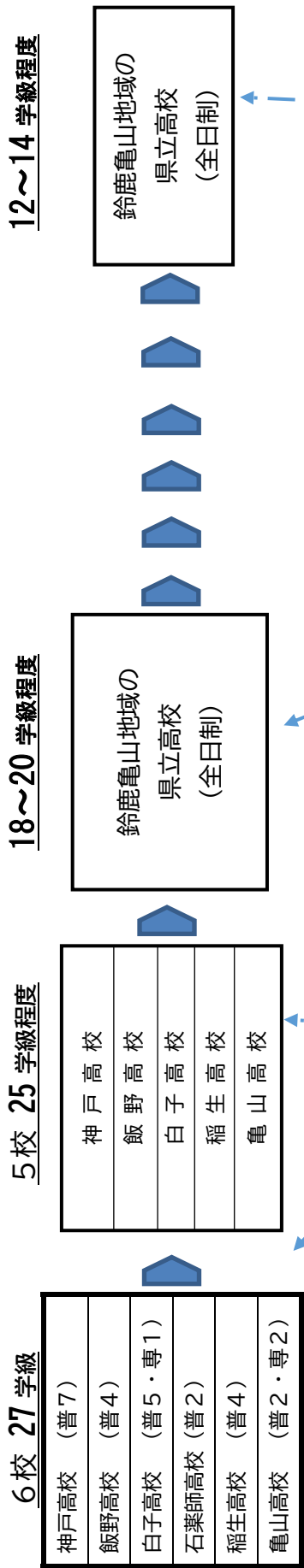
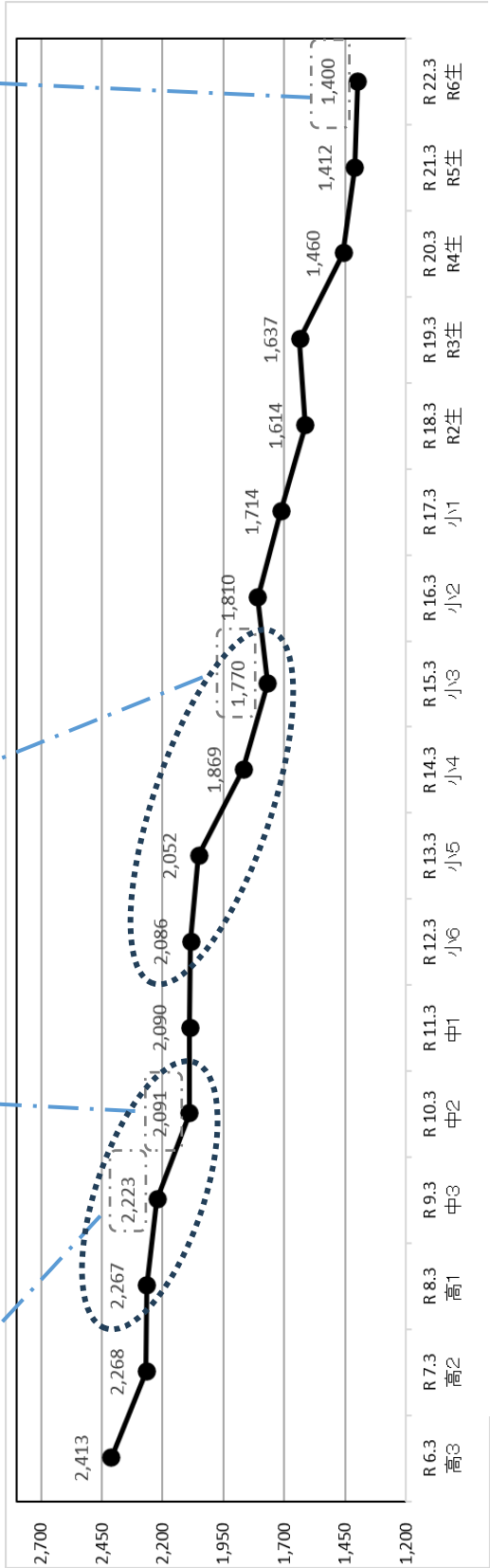
(R9 年度比 ▲453)

令和 22 年度

地域の中学校卒業予定者数

1,400 人

(R8 年度比 ▲823)



※ 中 3 から小 1 までは、R8.5.1 現在の在籍者数、R2 年度生まれから R6 年度生まれまでは、昨年度時点の出生数のデータに基づいて作成しています。

学級数の想定には、主に、中学校卒業者数の減少、全日制高校への進学率、県立高校と私立高校の定員の割合の 3 つの要素が働きます。
これら 3 つの要素を、通信制高校への進学率が上昇し全日制高校への進学率が年々低下していることなど近年の傾向をもとにして、令和 7 年度を基準に 15 年先まで当てはめると、令和 22 年度には、中学校卒業者数が約 6 割となるのに対し、1 学年あたりの総学級数は、それ以下の割合にまで減少することが見込まれます。